

二本松市役所を朝四時出発。あたり暗い。途中、菅生サービスエリアで休憩。仙台宮城インターあたりで高速を降り、セブンイレブンで朝食を買ひ、食べる。登山口まで一時間程度の沢

沿いの砂利道を進み、途中猫発見。また、小栗山船形神社の鳥居がある。道路の杉林で手入れはあまりされない。大和インターで雨に会う。大和インターで高速を降り、セブンイレブンで朝食を買ひ、食べる。



船形山山頂 1500m

九月山行、船形山

報告 佐野 浩



発行所
二本松市大根坂
あだたら山の会
集会部

●編集部連絡先
二本松市郭内1-5-15
0243(22)4245
渡辺 正

ていた。十二時五十分、瓶石沢分岐にてパトロールの二人組と会う。その後、少し雨がぱらつくがすぐにやんだ。十四時十分、登山口着。帰りは朝教えてもらつた、来る時は別な砂利道通り、台が森温泉山野川旅館にて休憩し、十八時十五分二本松市役所無事到着となりました。

た、来る時は別な砂利道通り、台が森温泉山野川旅館にて休憩し、十八時十五分二本松市役所無事到着となりました。

整備の方と会い、帰りは反対側の道を通った方が良いと教えてもらった。登山口着七時四十五分。a.uは園外でした。水場の水はとても冷たく、水汲みの人が来ていました。トイレは使えないとのこと。八時五分滝川キャンプ場登山口より登山開始。途中、鏡が池が見え、皆はカッパが見えたらしいのですが、僕は見えず残念でした。九時五十分。御来光岩にて薬師森、山形方面を眺めると紅葉が薄く色づいて綺麗。しかし、ガスがかかっていて遠くまでは見えず。十時五分山頂。山頂周辺もガスがかっていて遠くまでは見えず。その後、山小屋にて昼食。十人くらいの登山客と一緒になる。一部の方からあだたら山のくるがね小屋の温泉を早く治して欲しいと伝えてくれと言われた。十時五十五分山小屋出発。時間があつたので、コース変更して邪ヶ岳へ。途中は見晴らしがよく、東根市が見えた。また、今朝会った方が登山道の整備をされていた。思ったより山頂まで行くのに時間がかかり、不安になつた竹部さんが後ろでごによごによと何やら呪文を唱え



船形山山頂避難小屋



ご来光岩から 薬師森

【参加者】町田、菅野英伸、竹部、小野寺、渡辺正（五名）
【行動】福島市民体育祭・登山の集いは一日(日)、吾妻連峰一切経山周辺で開催された。集合時間の午前八時半には淨土平ビジターセンター前に、一般参加者十二名、山岳関係者十六名が集まり、開会式を実施。今日のコースの説明、行動中の注意事項説明があつた。コースは淨土平から駿ケ平を経て、一切経山登

天気。登山客も多く酸ヶ平への登り道は渋滞気味。一切経山頂でも五色沼「魔女の瞳」側は見下ろす場所がないくらいの混雑。西吾妻山への縦走路、米沢盆地などの景観を楽しんで下山。度を越えていた。登山道では紅葉が始まており、足下には「シラタマノキ」の白い実や黄色い「アキノキリンソウ」が目立った。午後二時には全員無事に淨土平に下山、閉会式を行つて解散した。

当日は朝から風もない上



一切経山頂、午前10時30分

十月一日(日)
福島市民体育祭
登山の集い・吾妻山

報告 編集部

九月二十八日（未）
二十九日（金）

標高が西脇の山
東京都の最高峰・雲取山

同峰
報告



雲取山山頂

日本三百名山の一座、といふよりも東京都の最高峰、いわゆる「雲取山」、とも言つた方が通りがいいのかかもしれない。山梨の境界に位置し、奥多摩と奥秩父の山域を繋ぐ存在感のある山であり、今年西暦二〇一七年、標高二〇一七mとゴロあわせのような「雲取山」山行の記録を記すことにす。私的には久しぶりの参加る。

の会の山行、同行できるのはの方々との道行を考えると、早朝の出発も苦にならぬ。会長から手渡された詳細な計画書は一部の隙もないといつたもの。今回の長く、厳しい行程を成し遂げるこれが出来たのは、事前の打ち合わせと参加者各個人のイメージ山行が出来ていたこと・・・実際はイメージ

よりきつかったが、・によるものであったと思う。参加者は「標高の山、二〇一七mの山頂に立とう」という共通目標を参加すると決めた時から持ち、体力、気力等の充実に心がけ、自分の気持ちをその日に向けて高揚させる。事前打ち合わせ時にもそれぞれが持っている情報を交換して備えた。熱心に話し合いをした。ご無沙汰していた会の山行で久しぶりに味わったわくわく、ドキドキ感のある山行の予感がした。

の道が続いている登山道。周囲はガスに包まれていていかにも靈山という感じ、莊嚴な感じさえただよつている。まっすぐに伸びた針葉樹林帯はまだ青く茂つていて、三峰神社奥の院への分歧檜「二岐檜」を過ぎ、「炭焼平」にて休憩、下山してきたばかり。テイ十五・六人が通り過ぎていく。

にたどり着いた。空模様が怪しくなり雨が落ちてき、雨具着用、白岩山山頂は展望もなく雨で休むことはなく通過。芋の木ドッケへと進む。珍名場所の由来は不明だったがドッケとはコシアブラの種類の事だという。休憩しながらひとしきりドッケの話題になり気持ちを和ませる。今回の山行は、みんなで冗談や山談義をしながらの登りが多いように思う。きつい登りを少しでも忘れてかと話していたのは私だけだったのでしょうか?ドッケから西側斜面のツガ原生林をトラバース、道幅は狭く階段や橋があり注意して歩行しなければならなかつたが道片に咲く「トオゲブキ」と背丈の小さな「トリカブト」があなから来ているらしい、と知りまたもひとしきり話題にして休憩。これからは今までのアップダウンが嘘のように緩斜面の登山道、いつの間にか時間は進み午後四時半を過ぎていた。女坂を登り、閉鎖された雲取ヒュッテの廃墟・・・廃墟とはこういうことと思わせるような・・・をみてテンブル治療のため残し先発のト場と思われる場所を過ぎ、ようやく雲取山荘の灯が見えた。途中で足のトラブル治療のため残し先発の

我々は午後五時十分雲取荘到着。実に七時間弱の行程だった。あのとき焼平でのパーティーに感った気配がそっくり今の我に感じられたであろうとった。アップダウンの多岐しい行程だった。治療された人たちも間もなく着小屋は四人ずつの二部屋、こたつもどきのある部屋で着替えを済ませ十八十五分の夕食に向かう。部屋に戻り集合して本の厳しかった登りの話題を花をさかせ午後八時の星消灯に促されて部屋に戻就寝となつた。窓を開けた空は今日の晴を予感させた。五時三十分の朝食をませて山頂へ出発する。生林の中を三十分ほど進み、万歳！山頂は他に十六人同宿のグループらしい。山頂からは富士山見えるらしいが晴れているのかどうかと下山の時間を考へないと山頂を後にする。午前八山莊を後にして長い厳か策して待つが見えそうにいのと下山の時間を考へないと残念ながら見えない。写真を撮つたり見える方向の山際にガスかかるといつて残念ながら見えない。山頂を後にする。午前八山莊を後にして長い厳か

行程に再び歩き出す。
往路に比べると天候の良いのも手伝って復路は快調に歩き進めることが出来た。最後のオプションにかかるまでは・・・雲取山の神社の奥の院に寄ろうと詰花だという「シラビゲソウ」も見ることが出来た。再度の登山はないだろうと三峰山が決まり三股樋から杉林の中の急登、尾根に出てしまふなり。歩き奥の院への鳥居に到着、ここから〇・六キロの参道が今回の山行での一番の難所と言つても過言ではない行程だった。途中から妙法岳への道を分け鳥居を潜り、朽ちかけた板橋を渡り、銷場を登り、垂直に張った梯子階段を登り、ようやくにしてたどり着いた奥の院、登拝して写真を撮りご利益を願った。登山口へさら下り登路へ、往路はガスに包まれて見えなかつた木立、風もなく、梵も聞こえず青空を見渡して静まりかえっている道路をあんなに厳しい山道だったのにと思ひながら下ってきていた。その後、三峰神社の立派な山門をくぐり、神社本殿を拝して広い境内を駐車場に戻った。八時にスタートした下山は八時間後ようやく終わりを迎えるようとしていた。疲れを癒すお風呂として・・・本当に『苦労様』でした。御世話になりまし

十月八日(日)

十月山行・会津駒ヶ岳

報告 佐野 浩



思います。翌日は6時に朝食をとり、7時半に駒の小屋出発。あたりはガスがかかっており、木道が濡れていて滑って怖かったです。途中からはガスが晴れて、十時十分に車に到着。駒の湯に寄って、蕎麦屋と檜枝岐歌舞伎場にまわり、十五時三十分に二本松市役所到着、解散となりました。

五時二十分に二本松市役所出発。モヤがかかつて見通し悪いが、白河あたりまで来ると晴れる。白河インターを降りて下道を走り、南郷に来て貰い出し。登山開始。十一時五十五分、駒の小屋着。紅葉が所々始まっていて綺麗でした。昼食をとり、計画より早く小屋に着いたので予定

を変更し、ザックを小屋に置いて山頂と中門岳を目指すことにする。途中、滑つて手を怪我(捻挫?)した方とすれ違う。山頂周辺の木道は滑り易く怖かった。山頂着十三時。あたりはガスがかかり見えず。中門岳の木道どん詰まりまで行き、十四時四十分駒の小屋に戻る。夜は星と月が見えて綺麗でした。宿泊客は満杯



安達太良からの会津駒
2008-03-09



小朝日岳から、大朝日岳を望む

九月二十四日、大朝日岳写真



大朝日岳から南、祝瓶山方向を望む



開会式、8時45分

十月一日 福島市民体育祭 登山の集い



ハートに見える五色沼、10時30分